

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公表番号】特表 2007-523893 (P2007-523893A)

【公表日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2007-032

【出願番号】特願 2006-549894 (P2006-549894)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/37	(2006.01)
C 1 2 Q	1/42	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	38/55	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
C 1 2 N	9/99	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	Z N A
C 1 2 Q	1/37	
C 1 2 Q	1/42	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	37/64	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/28	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	9/99	
C 1 2 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

神経変性疾患治療用の薬剤組成物を調製するための、A T P 7 A 相互作用分子を使用する方法。

【請求項 2】

A T P 7 A 相互作用分子が A T P 7 A 阻害剤であり、ここで好ましくは当該阻害剤が、抗体、アンチセンス・オリゴヌクレオチド、s i R N A、低分子量分子 (L M W)、結合性ペプチド、アプタマー、リボザイムおよびペプチド模倣体 (p e p t i d o m i m e t i c) からなる群より選択される、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

A T P 7 A が細胞内タンパク質複合体の一部である、請求項 1 または 2 のいずれかの方法。

【請求項 4】

相互作用分子または阻害剤が、ガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼの活性を調節する、請求項 1 ないし 3 のいずれかの方法。

【請求項 5】

神経変性疾患がアルツハイマー病である、請求項 1 ないし 4 のいずれかの方法。

【請求項 6】

ガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼの調節剤を同定する方法であって：

a . 既定の試験化合物が A T P 7 A 相互作用分子であるかどうか決定することによって、A T P 7 A 相互作用分子を同定し、

b . 工程 a) の A T P 7 A 相互作用分子がガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼの活性を調節可能であるかどうか決定する工程を含む、前記方法。

【請求項 7】

工程 a) において、試験化合物を A T P 7 A と接触させ、そして試験化合物と A T P 7 A の相互作用を決定する、ここで好ましくは、試験化合物の A T P 7 A との相互作用が A T P 7 A 活性の阻害を生じる、請求項 6 の方法。

【請求項 8】

工程 b) において、ガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼが A P P を切断する能力を測定する、好ましくは A ベータ 4 2 を産生する能力を測定する、請求項 6 または 7 のいずれかの方法。

【請求項 9】

神経変性疾患治療用の薬剤組成物を調製するための方法であって：

a . 請求項 6 ないし 8 にしたがって、ガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼの調節剤を同定し、そして

b . ガンマ - セクレターゼおよび / またはベータ - セクレターゼの調節剤を薬剤組成物に配合する

工程を含む、前記方法。

【請求項 10】

同定された分子と薬学的に許容しうるキャリアーを混合する工程をさらに含む、請求項 9 の方法。

【請求項 11】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに定義されるような A T P 7 A 阻害剤を含む、薬剤組成物。

【請求項 12】

請求項 9 または 10 のいずれかに記載の方法によって得られうる、薬剤組成物。

【請求項 13】

神経変性疾患を治療または予防するための医薬組成物であって、請求項 1 ないし 5 のいずれかに定義される、または請求項 9 または 10 のいずれかに記載の方法によって選られうる A T P 7 A 阻害剤を含む、前記医薬組成物。

【請求項 14】

アルツハイマー病を治療または予防するための医薬組成物であって、請求項 1 ないし 5

のいずれかに定義される、または請求項 9 または 10 のいずれかに記載の方法によって選られうる ATP7A 阻害剤を含む、前記医薬組成物。